第１号議案

令和元年度事業報告

会長	渡邊　博昭

2019年度もこれまでの会務を遂行するとともに、11月16日に朱鷺メッセで開催いたしました第93回新潟県臨床検査学会では346名の方々に参加いただき、盛会裏のうちに無事終了いたしました。これもひとえに、会員の皆様からの応援と、ご協力のおかげと実務委員一同、感謝いたします。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点がありご迷惑をお掛けしたと思います。しかしながら無事に会務を遂行できたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと改めて感謝いたします。

2019年度の事業の概要を下記の通り報告する。

総務部

① 平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。

② 表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

学術部

① 第93回新潟県臨床検査学会を開催した。

② 精度管理事業は、日臨技のシステムを使用して事業を行った。

③ 検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金に対して19研修会の申請を行った。

広報部

① 会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応を行った。

総務部	副会長　畔上　公子

1．通常総会の開催

令和元年５月26日（日）駅前オフィス貸会議室７階大会議室において令和元年度通常総会を開催し、平成30年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり承認された。また、令和元年度事業計画（案）、収支予算（案）を報告した。

2．会務の執行体制

1）職務分担

令和元年度は新役員により会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の３部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2）事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS 運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3．諸会議の開催

1）理事会　第１回　平成31年４月20日（新潟県公社総合ビル３階　会議室）
第２回　令和元年５月26日（駅前オフィス貸会議室７階　小会議室）
第３回　令和元年６月15日（新潟県公社総合ビル３階　会議室）
第４回　令和元年９月14日（新潟県公社総合ビル３階　会議室）
第５回　令和元年10月27日（新潟県公社総合ビル３階　会議室）
第６回　令和２年１月11日（プラーカ KENTO Room B）

2）常任理事会

定例常任理事会は、令和元年度は２回の開催となった。

3）三役会議

急な協議事項等についてはメール等を利用し協議を行い、特に三役会議は開催しなかった。

4）各種委員会の開催

⑴　会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第311号から第314号の編集業務のため、３回開催した。

⑵　ホームページ委員会

会員への情報伝達手段としてホームページの充実と運用に努めた。

⑶　検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため１回開催した。

⑷　生涯教育研修委員会

理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

⑸　精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため４回開催した。

⑹　表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため、１回開催した。

4．組織対策

1）入会対策

会員数の多い年代が定年を迎え会員数の減少が懸念されるが、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めた。

本年度の新入会および再入会の会員数は85名。

本会の正会員総数は1,382名。（令和２年３月現在）

技師連盟入会者数は17名。（令和２年３月現在）

社会的地位向上および今後の業務拡大の為にも、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

２）各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

５．地域保健医療活動および公益事業

１）父の日企画「家族で守ろうパパの健康」に中越支部が参画（６月16日）

２）佐渡糖尿病ウォークラリーに参画（６月９日）

３）糖尿病を知る集いに中越支部が参画（７月20日）

４）キッズフェスティバル2019に参画（９月８日）

５）すこやか・ともしびまつり2019に中越支部が参画（９月28・29日）

６）健康寿命延伸フォーラムに参画（10月14日）

７）ピンクリボンホリデー2019に参画（10月20日）

８）世界糖尿病デーin 長岡2019に中越支部が参画（11月４日）

９）糖尿病を知る集いに佐渡支部が参画（11月９日）

10）まちなか健康フェスティバル　HbA1c 測定会に参画（11月10日）

11）糖尿病を知る集いに参画（11月10日）

12）無料 HbA1c 測定会に参画（11月16日）

13）全国「検査と健康展」を開催（11月23日）

６．求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

７．災害関係

災害支援活動や会員の安否確認に威力を発揮する災害支援ネットワークに賛同と登録をお願いした。

登録者は100名（令和２年３月現在）となった。

８．表彰関係（敬称略）

１）第37回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て令和元年５月26日通常総会にて表彰）

学術賞部門　髙口　功（一般財団法人下越総合健康開発センター）

学術賞部門　小林聡子（新潟県立中央病院）

２）令和元年度功労者表彰（令和元年５月27日通常総会にて表彰）

⑴　永年会員功労者表彰　該当者33名

⑵　特別功労者表彰　山川栄一（JA 新潟厚生連けいなん総合病院）

３）名誉会員　相田清治

４）令和元年度生涯教育履修表彰（令和元年５月26日通常総会にて表彰）

奨励賞	石塚浩章	（独立行政法人国立病院さいがた医療センター）	394点
	小野篤史	（済生会新潟病院）	390点
	寺島　健	（~~独立行政法人国立病院さいがた医療センター~~） （JA 新潟厚生連小千谷総合病院）	390点
新人賞	関　俊輔	（新潟県立新発田病院）	300点

５）第93回新潟県臨床検査学会テーマ賞（令和元年11月16日学会開会式にて表彰）

菅原陽子（新潟県立新発田病院）

学術部　　副会長　桑原　喜久男

令和元年度は新潟県臨床検査学会、検査研究部門活動、精度管理事業、生涯教育を中心に１年間活動を行った。県学会を通して医療法改正に伴う臨床検査の精度保障に関する事案を取り上げ、会員の関心事項を取り上げた。

１．学会　　桑原　喜久男

令和元年11月16日（土）に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて、宮崎実行委員長のもと、第93回新潟県臨床検査学会を開催した。学会テーマは、「Specialty　KENSA～検体採取から報告まで～」として、一般演題26演題（内学生１演題)、特別企画２（内１件はシンポジウム)、教育講演５、ランチョンセミナー５が行われ、会員258名、賛助会員35名、学生51名、非会員２名、合計346名の参加をいただいた。シンポジウムでは医療法改正に伴い求められる臨床検査の精度保障に向け、求められる各種標準作業書や各種日誌、台帳について、各施設、部署によって作成方法や留意点、進捗状況について発表があり、多くの会員が参加し、自施設の状況を鑑み質疑応答がなされた。前回学会に続き、緊急検査に実際をうかがえる企画を実施した。放射線医からCT、MRI画像を提示いただき緊急性の高い画像を供覧、この画像から次に必要な医療行為に臨床検査が欠かせない事、そこに携わっている技師の役割をお聞きする事ができ、参加された会員の意識を高揚することになれば大変うれしい限りである。一般演題数は前回より減少したが、演題発表が初めてという会員が多く、フレッシュなものとなった。筆頭発表者の苦労を知り、研究をまとめる事、多くの方に伝える事を学ぶよい機会になったと考える。今後はこの経験を生かして支部学会、医学検査学会へと発表の場を広げていただければ幸甚である。一般演題における質疑応答にはいささか不満が残った。発表者と座長だけのやり取りは発表者に対してリスペクトに欠けるのではないかと考える。一所懸命に発表に向け準備をした発表者に対しては少しでも疑問に思う事、アドバイスや感激した事を、参加された方々は発表者に伝えていただき、活気ある学会に育てていただきたいと願うものである。賛助会員様からはランチョンセミナー、機器展示へ積極的にご協力を賜り感謝申し上げたい。

２．検査研究部門　　中村　岳史

令和元年度検査研究部門は、９部門３分野（生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門の９部門、臨床生理部門は、神経生理分野、循環生理・呼吸生理分野、超音波分野の３分野）で組織構成され、部門構成員は最大各部門６名、各分野４名、活動費は各部門12万円、各分野８万円で運営された。

今年度、検査研究部門が開催した研修会は、合計17回であった（昨年度17回、一昨年度21回)。各部門分野別では、生物化学分析部門２回、臨床一般部門１回（臨床血液部門との合同開催)、臨床血液部門２回（内１回は臨床一般部門との合同開催)、臨床微生物部門１回、輸血細胞治療部門３回、病理細胞部門３回、染色体・遺伝子部門１回、臨床生理部門（部門として１回、神経生理分野０回、循環生理・呼吸生理分野１回、超音波分野２回)、臨床検査総合部門１回であった。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大への対策として、２月と３月に開催予定であった３研修会が中止となったが、例年通りの開催数を維持しており各部門の努力の賜物と思われる。

研修会の内容は、専門性の高い内容から基礎的内容のものまで幅広く企画されており、多くの会員が参加しやすい内容であった。実技研修も積極的に開催されており、技術面での向上にも寄与できた内容であったと考えられた。実技研修では参加者も多く、会員からの高いニーズが伺えた。

次年度も、引き続き会員の声を反映しながら知識や技術の向上のため、会員にとって有益な学術活動を運営していきたい。

検査研究部門の研修会

部門	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
生物化学分析	令和元年 10月26日（土）	専門20	21名	2名	【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門／第51回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会合同研修会】 1.「高感度トロポニンによる ACS の鑑別―実臨床での効果的使用法―」 アボットジャパン株式会社学術部マネージャー　須川　聡 2.「標準作業書（SOP）作成の際の注意点」 一般社団法人　新潟県労働衛生医学協会　新潟ウェルネス　渡部美穂子 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室 ＊日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会と共催
	令和元年 12月7日（土）	専門20	22名	0名	【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門／生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会第17回研修会合同研修会】 1.「プレセプシンは、敗血症マーカーとして理想的か？」 株式会社 LSI メディエンス学術部　白川　嘉門 2.「HbA1c 測定の再考～変異ヘモグロビンを中心とした変動要因について～」 アークレイマーケティング株式会社　片瀬　優子 会場：新潟大学医歯学総合病院　3階　第6検討会室 ＊生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会と共催
臨床一般	令和元年 8月24日（土）	専門20	53名	1名	【令和元年度　臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会】 1.「“わからない”を“わかる”にするための形態学」 東北大学病院　診療技術部検査部門　菅原　新吾 2.「体腔液の標本作製と細胞像」 諏訪中央病院　技術部検査科　保科ひづる 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室
	令和2年 3月14日（土） ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期	専門20	―	―	【令和元年度　臨床一般部門実技研修会】 1.「実習前講義」 「血球類」　新潟聖籠病院　齋藤　直子 「上皮細胞類」　宮路　渚 「円柱類」　新潟県労働衛生医学協会　計良　政裕 2.「鏡検実習」 3.「質疑など」 会場：新潟医療技術専門学校　西新潟中央病院キャンパス　実習室3
臨床血液	令和元年 8月24日（土）	専門20	―	―	【令和元年度　臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会】 ⇒参加人数および研修会内容については、臨床一般部門欄に記載
	令和元年 11月2日（土）	専門20	31名	0名	【令和元年度　第2回　臨床血液部門研修会】 1.「血栓症における D ダイマーと SF の臨床的有用性」 LSI メディエンス学術部学術グループ　馬場　光広 2.「今から使える、症例から学ぶ血液検査データの見方・考え方」 東京大学医学部附属病院　常名　政弘 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室
臨床微生物	令和元年 9月14日（土）	専門20	57名	57名	【令和元年度　臨床微生物部門研修会】 1.「CLSI M100-ED29ドキュメント変更点について」 ダイアグノスティックス営業統括本部マイクロバイオロジー統括部 学術クリニカルアプリケーション部　横山　翼 2.「臨床微生物検査の最新トピックス2019～菌力アップトレーニングも含めて～」 東京医科大学微生物学分野　大楠　清文 会場：新潟大学駅南キャンパスときめいと　講義室 A・B ＊ベックマン・コールター株式会社と共催
	令和2年 2月29日（土） ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期	専門20	―	―	【令和元年度　臨床微生物部門研修会】 「真菌検査について」 1.「講演」 2.「実習」 医療法人社団小白川至誠堂病院臨床検査科　中川　卓夫 会場：新潟医療技術専門学校　西新潟中央病院キャンパス　2階　大講義室 ＊極東製薬工業株式会社と共催
輸血・細胞治療	平成31年 4月27日（土）	専門20	56名	3名	【平成31年度　輸血細胞治療部門研修会】 1.「輸血検査の基礎」 あがの市民病院　近藤　善仁 2.「直近10年の血液事業の変化とこれからの展望」 新潟県赤十字血液センター　古俣　妙 3.「学会認定・臨床輸血看護師から学ぼう！輸血現場の実際」 新潟県立新発田病院　久保　淳美 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室
	令和元年 6月30日（日）	専門20	64名	2名	【輸血細胞治療部門　輸血検査実技講習会】 〈基礎コース〉 血液型、不規則抗体検査を実施し、凝集の見方、試験管の振り方等、初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者、初級レベルの方が対象 〈認定および技能維持コース〉 血液型、不規則抗体検査、抗体解離試験等を実施し、総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や、ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方が対象 会場：新潟医療福祉大学　第6研究棟　N401・N402実習室

部門	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
輸血・細胞治療	令和元年 10月19日（土）	専門20	67名	5名	【令和元年度　輸血細胞治療部門研修会】 1.「直接抗グロブリン試験の陽性時の検査の進め方」 バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社　柿沼　幸利 2.「認定輸血検査技師認定試験について」 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院臨床検査科　小林　　徹 3.「不規則性抗体検査ブラッシュアップ！～基礎から応用そして最新トピックス～」 東邦大学医療センター大森病院輸血部　日高　陽子 会場：新潟大学医学部講義棟　3階　第3講義室
病理細胞	平成31年 4月21日（日）	専門20	35名	15名	【平成31年度　病理細胞部門研修会】 1.「国際医療と感染症」 コンゴ民主共和国保健省次官付顧問（JICA） 国立国際医療研究センター国際医療協力局　仲佐　　保 2.「TACAS™Ruby：上尾方式による内膜細胞診とその応用」 上尾中央総合病院検査技術科病理細胞診技術顧問　大野　喜作 3.「鏡検実習「子宮内膜細胞診」」 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室 新潟大学医学部　実習室3A（実習） ＊新潟支部病理技術研究会・新潟県細胞検査士会と共催
	令和2年 1月18日（土）	専門20	39名	10名	【令和元年度　第2回病理細胞部門研修会】 1.「認定病理検査技師による細胞診フォトサーベイ解説」 新潟県立中央病院　八木　美菜 新潟県立がんセンター新潟病院　畔上　公子 JA新潟厚生連長岡中央綜合病院　片桐　丘充 新潟大学医歯学総合病院　川口裕貴恵 2.「細胞診フォトサーベイ総評」 済生会新潟病院　遠藤　浩之 3.「呼吸器細胞診」 北里大学病院病院病理部　柿沼　廣邦 4.「鏡検実習「呼吸器細胞診」」 北里大学病院病院病理部　柿沼　廣邦 会場：新潟大学医学部　第4講義室・新潟大学医学部　実習室3A ＊新潟支部病理技術研究会・新潟県細胞検査士会と共催
	令和2年 2月1日（土）	専門20	33名	0名	【第41回新潟病理技術研究会】 1.「コントロール切片の使用法について」 新潟医療センター　長谷川秀浩 新潟県立がんセンター新潟病院　川口　洋子 長岡赤十字病院　高頭　秀吉 2.「病理検査と化学の関係性によるキシレンフリーの新しい包埋処理方法」 白井松器械株式会社　丸山　拓二 3.「病理診断における免疫染色の精度管理と応用」 東海大学医学部付病院　病理検査技術科　芹澤　昭彦 会場：新潟県立がんセンター新潟病院　2階　講堂 ＊新潟県病理技術研究会と共催
染色体・遺伝子	令和元年 10月19日（土）	専門20	18名	14名 学生 2名	【令和元年度　染色体・遺伝子部門研修会】 1.「遺伝子検査のいま～進む個別化医療、遺伝子検査でできること～」 アークレイマーケティング株式会社　片瀬　優子 2.「HER2-FISHの基礎とFISH法の応用」 株式会社常光　今野　佳祐 3.「肺癌EGFR遺伝子変異検査における精度向上の取り組み」 香川大学医学部付属病院病理診断科・病理部　羽場　礼次 会場：新潟大学医学部　第4講義室 ＊講演3：アストラゼネガ株式会社と共催
臨床生理	令和元年 6月16日（日）	専門20	81名	0名	【生理検査基礎セミナー】 1.「レクチャー」 ①心電図検査の基礎 JA新潟厚生連新潟医療センター　三富　　圭 ②呼吸機能検査の基礎 労働衛生医学協会新潟健康増進センター　若林　佳美 ③事例から学ぶ生理検査に役立つ検査データのみかた 新潟県立中央新潟病院　高橋　政江 2.「安全な採血のための基礎知識」 新潟大学医歯学総合病院　小林　清子 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室
	神経生理分野 令和元年 3月15日（日） ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期	専門20	―	―	【神経生理検査セミナー2020】 1.「睡眠時無呼吸症候群－現在・過去・未来」 篠田耳鼻咽喉科医院　篠田　秀夫 2.「PSG解析について」 西新潟中央病院　土屋　邦子 3.「CPAPを含む呼吸管理療法について」 新潟県立中央病院　原　　隆芳 会場：新潟大学医学部　医学科　西講義棟1階　第1講義室
	循環・呼吸生理分野 令和元年 12月21日（土）	専門20	82名	0名	【2019年度心電図セミナー】 1.「日臨技サーベイ心電図の解説～過去問を振り返る～」 JA新潟厚生連長岡中央綜合病院検査科　大矢　佳奈 2.「心電図異常を心エコー図で診る」 札幌医科大学附属病院検査部科　齋藤　　和 3.「植込み型心臓デバイスの特徴と心電図」 新潟大学医歯学総合病院循環器内科　長谷川祐紀 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室

部門	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床生理	超音波分野 令和元年 ８月10日（土） 新潟会場 ８月11日（日） 長岡会場	専門20	新潟 32名 長岡 24名	新潟 ０名 長岡 ２名	【令和元年度超音波実技セミナー】 セミナー内容 心臓超音波 新潟県立十日町病院　和智　順子 JA 新潟厚生連新潟医療センター　三富　　圭 腹部超音波 労働衛生医学協会新潟健康増進センター　若林　佳美 新潟県立妙高病院　宮崎　智美 頸動脈エコー JA 新潟厚生連長岡中央綜合病院　大矢　佳奈 新潟会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室 長岡会場：JA 新潟厚生連長岡中央綜合病院　２階　講堂
	超音波分野 令和元年 ８月25日（日）	専門20	18名	３名	【令和元年度超音波検査士対策セミナー】 「超音波装置を上手に扱うために知っておきたい超音波基礎的知識」 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社超音波本部　山本　幸弘 会場：新潟大学医歯学総合病院　12階　小会議室
臨床検査総合	令和元年 11月９日（土）	専門20	24名	０名	【令和元年度　臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会】 １.「結核と QFT-Plus について」 日本ビーシージー製造株式会社学術部　山崎　文子 ２.「HIV 検査について～最近の検査の動向」 神奈川県衛生研究所　佐野　貴子 会場：駅前オフィス貸会議室中会議室（第五マルカビル７階）

３．精度管理事業　　坂西　　清

本年度も新潟県から新潟県医師会への委託事業である令和元年度（第40回）新潟県臨床検査精度管理調査会を行った。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計６回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

微生物検査は技師会が担当する一般菌１菌種の感受性と、新潟県保健環境科学研究所が担当する２菌種の同定を合わせて実施した。

臨床化学は昨年同様28項目を実施した。調査試料は低濃度域に自家製ヒトプール血清を用い、高濃度域には市販管理試料を用いた。評価基準は（一社）日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。

本年度より酵素項目、濃度項目の目標値設定については、基幹施設および ISO 取得施設に別途測定依頼したデータを用い設定した。酵素項目においては、ReCCS 標準物質、JSCC 常用基準法にトレーサブルである JSCC-SOP 法を用いた測定値と参加施設報告平均値に差がみられる項目があり、基幹施設報告値を利用していた。濃度項目においては、昨年度まで基幹施設に ReCCS 標準物質を配布して日常検査法で目標値設定したが、この配布に利用するドライアイスの影響を電解質項目において受けることが判明した。以上のことから上記のとおり目標値設定方法を変更した。HDL コレステロール、LDL コレステロールは今年度の調査に用いた試料において測定方法（測定試薬）により値が異なるため、できるだけ多くの測定方法（測定試薬）に目標値を設定したいと考えメーカー報告値を目標値とした。また、LDL コレステロールの試料12（市販管理血清）において、デンカ生研試薬にて測定機種により測定値に差がみられたため目標値を別設定とした。クロール（Cl）についても電極の違いにより測定値に差がみられたため別設定とした。HbA1c は本年度も日本赤十字社全血検体を用いたが、測定方法（測定試薬）により反応性が異なるためメーカー報告値を用いて測定方法毎に目標値を設定した。

評価基準は昨年と同様に目標値からのバイアスの許容誤差限界（B_A）とした。ただし、評価基準は本年度から以下に示す日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。本年度も試料11にヒトプール血清を使用しており、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、クレアチニン（Cre）において低濃度となったため暫定的に評価基準を目標値±10％とした。乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）もばらつきが確認されたため、暫定的に±５％とした。また、ナトリウム（Na）及びクロール（Cl）は日本臨床衛生検査技師会精度管理調査と同様

に評価Ｂ以下の基準を変更した。カリウム（K）は B_A が1.9％あるが、規格の運用において、「測定値が小さく、目標値× B_A（％）の値、あるいは目標値×５％（許容誤差限界上限）の値が、日常報告している結果報告桁数の最小単位未満となる項目は結果報告桁数の最小幅の２倍を許容誤差限界とすることを推奨する。」となっていることから目標値±0.2mEq／Ｌとした。

なお、尿素窒素はReCCSの標準物質の認証値は内因性のアンモニアを含んでいないことからアンモニア消去（回避）法以外の測定方法、そしてクレアチンキナーゼ（CK）のアキュラスオート（シノテスト）は市販ヒト由来管理血清である試料12の反応性が異なることから、また測定方法未記入等は目標値の設定が不可能であるため評価対象外とした。

ドライケミストリー法はナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（Cl）はドライケミストリー法以外の方法と同様の評価基準としたが、それ以外の評価項目はマトリックスの影響を受けやすいため、評価Ｂを1.5倍（目標値±7.5％）に広げた。

また、集計に用いた精度管理用システム（JAMTQC）は５施設未満の集団の統計処理、および目標値の設定が不可能である。そのため、方法別および試薬別に目標値を設定した項目で６施設未満の場合は評価を「施設別報告書」に反映させることが不可能であることから「対象外」の表記になる。ご不便をおかけすることをお詫びするとともに、下記の目標値を参考に自施設の正確度の判断をお願いしたい。

血液検査については、各項目とも昨年と同程度の収束がみられ、良好な結果であった。血液像目視サーベイは健常人血液を用いて行い、概ね良好な結果となったが一部で好酸球や反応性リンパ球の割合が明らかに高い施設が見られた。

一般フォトサーベイについては正解率80％を越えた設問が10設問、80％未満が２設問であった。設問８は尿細管上皮細胞（特殊型）を鑑別する設問で正解率が特に低かった。例年正解率の低い赤血球形態を鑑別する設問（設問11・12）は80％を越え、鑑別能力の向上がみられた。

微生物（薬剤感受性）については抗菌薬３種類、ピペラシリン／タゾバクタム（以下PIPC／TAZ）：51施設、セフタジジム（以下CAZ）：52施設、ゲンタマイシン（以下GM）：47施設の参加であった。CAZのディスク拡散法のＡ評価が66.7％となったが、これは実施施設数が少ないためである。その他の結果は全体的に良好であった。

精度管理調査事業の内容は以下のとおりである。

１．試料の到着　　臨床化学は令和元年10月28日（月）に各施設に到着。

２．測　定　日　　サンプル到着後、可能な範囲で速やかに実施。

３．測 定 項 目

１）臨床化学　　※生化学試料：冷凍試料・HbA1c 試料：冷蔵試料

グルコース（Glu）、ヘモグロビンA1c（HbA1c）、総ビリルビン（TB）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（Cl）、カルシウム（Ca）、無機リン（IP）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、総蛋白（TP）、アルブミン（Alb）、C反応性蛋白（CRP）、尿酸（UA）、尿素窒素（UN）、クレアチニン（Cre）、総コレステロール（TC）、中性脂肪（TG）、HDL-コレステロール（HDLC）、LDL-コレステロール（LDLC）、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）、アミラーゼ（AMY）、クレアチンキナーゼ（CK）、γ-グルタミルトランスフェラーゼ（GGT）、コリンエステラーゼ（ChE）の28項目。

ドライケミストリー法は本年度も無機リン（IP）、総ビリルビン（TB）の参加は選択可能。また、LDL-コレステロール（LDLC）は実施せず。

２）血　　液　　※血液試料：冷蔵試料

CBC６項目（Hb、PLT、WBC、RBC、Ht、MCV）

評価は変更しない（PLT の許容は±10%。Ht、MCV は評価しない）

血液像フォトサーベイ（10問）を実施。

4．測定方法

各施設で使用している試薬、機器を用いて測定。

測定回数はルーチン検査と同様、「１回測定」の測定値を報告。また、他施設の情報を得ることは禁止とします。

5．サンプル及び取り扱い

１）臨床化学

※ドライケミストリー法は専用のサンプル13、14を測定。

試料	測定項目	取扱い上の注意
11	グルコース（Glu）、総ビリルビン（TB）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（Cl）、カルシウム（Ca）、無機リン（IP）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、総蛋白（TP）、アルブミン（Alb）、C 反応性蛋白（CRP）、尿酸（UA）、尿素窒素（UN）、クレアチニン（Cre）、総コレステロール（TC）、中性脂肪（TG）、HDL- コレステロール（HDLC）、LDL- コレステロール（LDLC）、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）、アミラーゼ（AMY）、クレアチンキナーゼ（CK）、γ- グルタミルトランスフェラーゼ（GGT）、コリンエステラーゼ（ChE）	ヒト血清です。サンプル到着後は－40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
12		ヒト血清由来凍結品です。サンプル到着後は－40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。
13 （DRY Ⅰ） 14 （DRY Ⅱ） ※ドライケミストリー法専用	グルコース（Glu）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（Cl）、カルシウム（Ca）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、総蛋白（TP）、アルブミン（Alb）、C 反応性蛋白（CRP）、尿酸（UA）、尿素窒素（UN）、クレアチニン（Cre）、総コレステロール（TC）、中性脂肪（TG）、HDL- コレステロール（HDLC）、LDL- コレステロール（LDLC）、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）、アミラーゼ（AMY）、クレアチンキナーゼ（CK）、γ- グルタミルトランスフェラーゼ（GGT）、コリンエステラーゼ（ChE）	ヒト血清です。サンプル到着後は－40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
17	ヘモグロビン A1c（HbA1c）	ヒト血液です。 通常の検体と同様に測定してください。感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。また、サンプル到着後は冷蔵保存し、できるだけ速やかに測定してください

２）血液

試料	測定項目	取扱い上の注意
41	ヘモグロビン濃度、 血小板数、 白血球数、 赤血球数、 ヘマトクリット値 平均赤血球容積	**市販管理血球**です。サンプル到着後は冷蔵保存してください。**（凍結厳禁）。**感染性の完全な否定はできませんので、取り扱いには十分注意してください。 ［装置の測定条件］ (1) マニュアルとクローズドの測定モードがある場合、マニュアルモードで測定してください。 (2) 患者検体を測定するモードで測定してください。 (3) CBC のみ（白血球分画等なし）のモードで測定をお願いします。CBC のみにできない機種はそのまま測定してください。なお、赤芽球等を白血球から除外する機能を有する機種の場合、除外前の白血球数で報告してください。 (4) ヘモグロビン測定において、シアンを用いるか用いないかの方法選択ができる機種については、通常業務で用いている方法で行ってください。 ［試料の準備と測定］ 室温に15分間静置後、静かに転倒混和ときりもみを繰り返し行い、充分に混和してください。**（激しく振ることは絶対に避けてください）**。よく混和された状態で、直ちに測定してください。 報告値については、「測定機種に依存する注意事項について」を参照してください。

6．成績報告締切：令和元年11月５日（月）

7．報告（臨床化学・血液）

日臨技システムでの報告。日本臨床衛生検査技師会の HP より JAMT QC に入っていただき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告。

8．参加費　　昨年までと同様に無料。

9．目標値と評価基準について

1）臨床化学

グルコース（Glu）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（Cl）、カルシウム（Ca）、尿酸（UA）、尿素窒素（UN）、クレアチニン（Cre）、総コレステロール（TC）、中性脂肪（TG）、HDL-コレステロール（HDLC）、LDL-コレステロール（LDLC）、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、アルカリフォスファターゼ（ALP）、乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）、アミラーゼ（AMY）、クレアチンキナーゼ（CK）、γ-グルタミルトランスフェラーゼ（GGT）、コリンエステラーゼ（ChE）、ヘモグロビン A1c（HbA1c）は次頁の表の標準物質及び測定方法で目標値を設定し、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準に準じて評価を行います。HDL-コレステロール（HDLC）、LDL-コレステロール（LDLC）は測定試薬別に評価を行います。ドライケミストリー法も同様に評価を行います。日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準を以下に示します。ただし、反応性等に問題が確認された場合、変更する場合があります。総ビリルビン（TB）、無機リン（IP）、鉄（Fe）、マグネシウム（Mg）、総蛋白（TP）、アルブミン（Alb）、C反応性蛋白（CRP）は評価せず、単純集計のみを実施します。

※【日本臨床衛生検査技師会臨床化学部門評価基準】

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対して以下に示す評価幅を加え評価基準とする。

・評価Ａ：「基準」を満たし、優れている

目標値±生理的変動を基に算出した施設間の許容誤差限界（analytical bias, B_A）[*1)] 内の報告値。健常人の生理的変動幅から算出され、項目によっては大きな数値となっているため、上限を５％に設定した。

[*1)] B_A：日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会：生理的機変動に基づいた臨床化学検査36項目における測定の許容誤差限界、臨床化学2006；35：144-153

・評価Ｂ：改善の余地が見込めるが「基準」を満たしている

目標値±体外診の性能確認幅[*2)] 内の報告値。但し、現状の収束状況を考慮し上限を５％と設定した。

[*2)] 体外診の性能確認幅：平成９年の医薬発139号の厚生省医薬安全局長通知（体外診断用医薬品の取扱いについて）、医薬審第181号の医薬安全局長管理課長通知、厚生省医薬安全局審査管理課事務連絡（体外診断医薬品の申請の際の性能の確認について）、等の許容測定変動係数（範囲）に準じた。

・評価Ｃ：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価Ｂの幅を超え、この幅の最大1.5倍までの報告値。

・評価Ｄ：「基準」から大きく逸脱し、早急な改善が必要

目標値±評価Ｃの幅を超えた報告値。

本精度管理調査では評価Ａもしくは評価Ｂに達することが望ましい。

臨床化学目標値設定方法と評価基準

項目	単位	標準物質	測定方法	評価基準
グルコース（Glu）	mg/dL	ReCCS 標準品	ヘキソキナーゼ法、電極法	目標値±2.3%
ナトリウム（Na）	mEq/L		電極法	目標値±２mEq/L
カリウム（K）	mEq/L		電極法	目標値±0.2mEq/L
クロール（Cl）	mEq/L		電極法	目標値±２mEq/L
カルシウム（Ca）	mg/dL		各種測定方法	目標値±１%
尿酸（UA）	mg/dL		ウリカーゼ･POD 法	目標値±５%
尿素窒素（UN）	mg/dL		アンモニア消去法	目標値±５%
クレアチニン（Cre）	mg/dL		酵素法	試料11目標値±10% 試料12目標値±4.8%
総コレステロール（TC）	mg/dL		酵素法	目標値±4.5%
中性脂肪（TG）	mg/dL		酵素法（FG 消去）	目標値±５%
HDL- コレステロール（HDLC）	mg/dL		各社直接法	目標値±５%
LDL- コレステロール（LDLC）	mg/dL		各社直接法	目標値±５%
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）	U/L	JCCLS CRM001	JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	試料11目標値±10% 試料12目標値±５%
アルカリフォスファターゼ（ALP）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
アミラーゼ（AMY）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
クレアチンキナーゼ（CK）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
γ- グルタミルトランスフェラーゼ（GGT）	U/L		JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±５%
コリンエステラーゼ（ChE）	U/L	JCCLS CRM002	JSCC（JCCLS）自動化法	目標値±4.7%
ヘモグロビン A1c（HbA1c）	%	JCCRM411	HPLC 法	目標値±５%

２）血液

ヘモグロビン・血小板数・白血球数・赤血球数について、各メーカー製キャリブレーターにより校正が行われた装置で、測定の協力が得られた機種について、その値を目標値に設定し、機種別に評価基準に添って該当機種のサンプルについて評価を行います。

ヘモグロビン・白血球数・赤血球数について、評価基準は臨床的許容限界 JCCLS, 1994を基に設定しました。血小板数については、試料の目標値が基準値下限付近であることから、他県の精度管理の状況を参考に設定しました。ヘマトクリット、平均赤血球容積は評価せず、単純集計のみ実施します。

血液検査　評価基準

項目	単位	目標値設定装置	評価基準
ヘモグロビン	g/dL	ICSH　CLSI　の推奨する国際標準法にトレーサビリティが確保された各メーカーキャリブレーターにより校正された装置	目標値±3.6%
血小板数	$\times 10^{9}$/L		目標値±10.0%
白血球数	$\times 10^{9}$/L		目標値±5.6%
赤血球数	$\times 10^{12}$/L		目標値±4.1%

３）一般フォトサーベイ

１．一般検査フォトサーベイを実施します。設問数は19設問、評価対象は設問１～12です。
　アンケートにもご協力ください。

２．問題について
　令和元年10月28日（月）から、「日臨技精度管理調査システム」よりダウンロードが可能です。

３．回答締切：令和元年11月５日（火）23：59

４．報告方法

１）日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会の HP より JAMT QC に入っていただき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。

２）登録方法、回答入力方法については、「参加登録・回答入力要項」を参照してください。

5．注意事項

可能な限り鑑別しやすい写真を選定していますが、プリントアウトする場合は印刷機の性能により判別が難しくなることがあります。必ず一度はダウンロードしたPDFファイルをPCモニター上で確認してください。

6．評価方法

「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法における日臨技指針」に則り、評価を行います。

4）微生物（薬剤感受性）

試料の配布日時：中継施設への郵送・運搬　　令和元年10月28日（月）～29日（火）
　　：参加施設への受領　　令和元年10月30日（水）～11月1日（金）

1　検査開始日　試料を受取り次第、検査を開始してください。

2　検査項目　試料中に含まれる病原細菌のアンピシリン（ABPC）、セフォタキシム（CTX）メロペネム（MEPM）3薬剤について薬剤感受性検査を実施し、日常的に臨床へ行う最終報告を入力してください。

3　検査方法　各施設で日常的に行っている方法で実施してください。

4　試　　料　試料C（*Klebsiella pneumoniae*）を用いて実施してください。

5　試料の取扱い　試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれていますので、取扱いには十分注意してください。

6　試料の調整　試料Cはカジトン培地にて保存してあります。
※一旦、ハートインフュジョンブイヨン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を釣菌してください。（栄研化学　ポアメディア®カジトン培地　添付文書より）

7　報告期限　令和元年11月18日（月）締め切り

8　報告方法　日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT　QCに入っていただき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。登録方法、回答入力については、「参加登録・回答入力要項」を参照してください。

9　記入上の注意　「参加登録・回答入力実施要項」を熟読うえ、記入漏れのないようにしてください。

10　評価について　今年度より評価設定を行います。
評価A；薬剤感受性試験、ブレイクポイント（CLSI）の判定、薬剤耐性菌のタイプ、確認試験が正しく行われているもの。評価D；上記以外のもの1検査開始日：試料を受取り次第、検査を実施。

4．生涯教育　　近藤　善仁

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。日臨技より支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額は、上限である20研修会の申請を完了していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により1研修会を次年度へ延期とした。最終的に19研修会・計752,500円を受け取ることができた。

広報部　　副会長　坂西　　清

今年度も、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの運営を軸に全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけて運営をしてきた。ホームページは即時に会員にお知らせできる事から有益な情報をできるだけ早く掲載することに努め、情報発信手段として安定した運営を目指し活動を行ってきた。理事会終

了後に発行する新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報を会員施設へ提供できた。会誌に関しては、初めての演題発表者に焦点をあてる学会参加報告や施設紹介など会員に親しみやすい内容から、学術的な内容まで幅広い内容の会誌発行を務めてきた。

１）新臨技会誌　神林　真弓

〔講義・研究〕基礎的な内容から最新の情報まで幅広い分野において掲載した。

〔研修会報告〕研修会に参加した会員の協力を得て、研修会を身近に感じ、参加できなかった会員の方にも講義内容をお伝えできる頁とした。

〔認定技師制度紹介〕臨床検査技師に関わる様々な認定資格を紹介し、スキルアップに繋がる情報を提供した。

〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕

誰もが参加でき、新入会員の紹介や会員の日常、職場での活躍ぶりを掲載することで会員同士の繋がりを深める頁となった。

〔公益活動参加報告〕公益活動は一般の方に臨床検査技師を知っていただく大変良い機会なので、多くの会員に参加していただけるよう活動内容を把握できる頁とした。

〔施設紹介〕病院から検診センター、研究所など様々な施設を紹介することで、施設情報の共有を図った。

〔学会参加報告〕始めて学会発表をした会員に感想を含めた報告書を執筆していただき、これから発表を考えている会員の参考にしていただけるよう努めた。

年４回　季刊発行（311号から314号まで）

〈2019年度会誌掲載内容〉

311号　平成31年４月１日

〔講義〕

５項目マルチプレックス PCR による起炎菌と耐性遺伝子同時検出の意義について　堂浦　照也

尿検査における最近の話題　渡辺　浩

〔篠川至賞とは〕

篠川　至賞について　坂西　清

〔お知らせ〕

第93回新潟県臨床検査学会案内（予告）メインテーマ募集のお知らせ

〔研修会参加報告〕

臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会に参加して　阿部　望

平成30年度輸血細胞治療部門研修会に参加して　飯塚　梨恵

平成30年度血管エコーセミナーに参加して　長谷部香純

〔施設紹介〕医療法人恒仁会　新潟南病院　髙橋　恭矢

〔ペンリレー〕　坂内　政紀

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

中川里紗子、大塚　彩菜、石坂由香梨、小林　真依、安田　佳恵

〔会報〕

一般社団法人新潟県臨床検査技師会2019年度通常総会議案書

一般社団法人新潟県臨床検査技師会2019年度事業計画

平成30年度　12月常任理事会議事録

平成30年度　第６回理事会議事録

平成30年度　２月常任理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕

312号　令和元年７月１日

〔あいさつ〕会長就任あいさつ　渡邊　博昭
〔講義〕
Helicobacter pylori（ピロリ菌）が引き起こす疾患と診断・治療のための検査とその特徴　飯田　慶治
心電図について（日当直業務時を中心に）　吉楽　　恵
〔施設紹介〕
一般社団法人新潟県労働衛生医学協会　佐渡検診センター　磯西　拓人
〔受賞者のことば〕
篠川　至賞を受賞して　髙口　　功
篠川　至賞を受賞して　小林　聡子
生涯教育新人賞を受賞して　関　　俊輔
〔研修会参加報告〕
平成30年度第３回新潟支部研修会に参加して　宮野　柚花
上越支部春季研修会に参加して　南保　和子
佐渡支部研修会に参加して　大竹由紀子
平成30年度臨床一般部門実技研修会に参加して　生田　泰豊
平成30年度第３回下越支部研修会に参加して　齋藤　芳弘
平成30年度認知症対応力向上講習会Ｂに参加して　中澤　順子
ニューリーダー育成研修会に参加して　五十嵐康之
多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会に参加して　吉田　賢一
〔認定技師制度紹介〕　遺伝子分析科学認定士　畔上　公子
〔ペンリレー〕　小林　裕真
〔検査技師として～私の奮闘記～〕
後藤　若奈、伊藤　結子、瀧澤　悠太、小林　果歩、照井　実咲、辻川明香里、
駒形　瑠美、安藤　　諒、鬼山　明穂
〔会報〕
平成30年度　第７回理事会議事録
2019年度　収支予算書
2018年度　監査報告書
2018年度　公益目的支出計画実施報告書
2019年度　一般社団法人新潟県臨床検査技師会　通常総会議事録
2019年度　通常総会からのアンケート回答
お詫びと訂正
新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕

313号　令和元年10月１日

〔講義〕
BNP 総論　西留明日香
輸血検査におけるマイクロプレート法の原理・特徴について　白幡　繁
〔案内〕第93回新潟県臨床検査学会
〔研究〕第93回新潟県臨床検査学会抄録
〔公益事業参加報告〕
父の日企画「家族で守ろうパパの健康」に参加して　高橋由美子
佐渡糖尿病ウォークラリー2019に参加して　宮崎　勝吉
糖尿病を知る集いに参加して　奈良　佳輝
〔研修会参加報告〕
平成31年度輸血細胞治療部門研修会に参加して　水野　茜
生理検査基礎セミナー2019に参加して　土田　真也
輸血細胞治療部門　輸血検査実技講習会に参加して　白川　杏花
令和元年度第１回下越支部研修会に参加して　大津　桃子
〔施設紹介〕株式会社　江東微生物研究所新潟支所　古俣竜一郎
〔ペンリレー〕　野澤　昂朗
〔検査技師として～私の奮闘記～〕
小林　泰生、福田　祐介、渡邉　玲音、坂田　理穂、久住　亮介
〔会報〕
2019年度（令和１年度）７月常任理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕

314号　令和２年１月１日

〔あいさつ〕年頭のご挨拶　渡邊　博昭
〔講義〕
12誘導心電図の新たなカタチ　導出18誘導心電図
心電図の歴史から見た追加誘導への要求　須藤　二郎
QuantiFERON® TB ゴールド　プラスについて　波多　宏幸
〔受賞者のことば〕第93回新潟県臨床検査学会テーマ賞受賞　菅原　陽子
〔公益事業参加報告〕
「すこやかともしびまつりに参加して」　湯本　健史
健康寿命延伸フォーラムに参加して　荒木　諒太
『ピンクリボンホリデー2019 in 新潟』に参加して　浅野　晴美
世界糖尿病 Day に参加して　柳沢　悦子
糖尿病を知る集いに参加して　山田　将也
「まちなか健康フェスティバル」「糖尿病を知るつどい」に参加して　田端　篤
「無料 HBA1c 測定会に参加して」　五十嵐康之
全国「検査と健康展」に参加して　斎藤　真美
〔第93回新潟県臨床検査学会　特集〕

第93回新潟県臨床検査学会一般演題発表デビューされた方　桑原喜久男
〔第93回県学会　初めて学会発表してみて〕
長井菜々子、安村かほり、小林　若菜、仲村　友絵、岡田はるな、小熊　　望、
松浦　　芳、羽深　実里
〔第93回新潟県臨床検査学会に参加して〕
「第93回新潟県臨床検査学会に参加して」　デシルバ　ロイ直基
第93回新潟県臨床検査学会に参加して　市川由里恵
〔報告　第93回新潟県臨床検査学会シンポジウム
医療法改正における各種標準作業書作成の実際
～各施設の実例紹介～　参加施設アンケート結果〕
〔研修会参加報告〕
佐渡支部研修会に参加して　福原　祐斗
生理機能検査部門　超音波セミナーに参加して　下澤　実音
臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会に参加して　澤渡　哲也
上越支部研修会に参加して　小林　泰生
臨床微生物部門研修会に参加して　瀬沼　祥輝
令和元年度　染色体・遺伝子部門研修会に参加して　山田　隆志
令和元年度輸血細胞治療部門研修会に参加して　鈴木　真菜
令和元年度第１回新潟支部研修会に参加して　齋藤　愛望
令和元年度第２回臨床血液部門研修会に参加して　押山ルミ子
令和元年度臨床検査総合部門研修会に参加して　林　　嵩憲
〔施設紹介〕新潟県立加茂病院　佐藤　由美
〔認定技師制度紹介〕二級検査士（病理学）について　高木　祐希
〔ペンリレー〕　信田　佳穂
〔検査技師として～私の奮闘記～〕
笠原　莉奈、駒形　晴日、佐藤　亮太、樺澤　政也、斎藤　芽衣、渡辺　智紀、
小林　万穂、田中　雄馬、横木　結衣
〔会報〕
2019年度（令和１年度）第４回理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕

２）新臨技ニュース　佐藤　　卓

理事会議事要旨、組織活動、求人情報など速報性・実用性のある情報を掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を考慮し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月１回とした。

３）新臨技ホームページ　近藤　善仁

ホームページは研修会案内・各支部活動・お知らせ・求人情報などをリアルタイムに掲載し、ネット環境があれば、いつでも閲覧可能となっている。日臨技からの情報や近隣技師会の研修会、共催や後援事業についても会員にとって有益な場合は掲載した。また、研修会のスライドデータや RCPC の症例など配信の依頼があれば柔軟に対応した。精度管理事業の施設別報告値一覧も Web 上にて公開した。

【主要行動報告】

1．４月５日　新潟医療福祉大学入学式へ渡邊会長出席
2．４月５日　新潟医療技術専門学校入学式へ桑原副会長出席
3．４月10日　北里大学保健衛生専門学院入学式へ坂西副会長出席
4．４月20日　第１回表彰委員会、第１回学術部門会議
5．４月20日　第１回理事会
6．５月14日　篠川至賞選考委員会開催
7．５月16日　新潟県臨床検査技師会の監査
8．５月21日　新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ五十嵐理事が WEB 参加
9．５月26日　第11回臨床検査セミナー並びに通常総会
10．５月26日　第２回理事会
11．６月６日　糖尿病会主催のイベント会議へ佐藤理事、畔上理事出席
12．６月15日　第３回理事会
13．６月21日　日臨技定時総会事前運営打ち合わせ会へ渡邊会長出席
14．６月22日　日臨技定時総会へ渡邊会長出席
15．６月22日　新潟県細胞検査士会定例総会へ坂西副会長出席
16．６月24日　公益財団法人新潟県健康づくり財団第17回定時評議委員会へ渡邊会長出席
17．６月25日　多職種協働推進委員会へ桑原副会長出席
18．６月26日　編集委員会開催
19．６月29日　第１回精度管理委員会開催
20．７月13日　７月常任理事会
21．７月13日～14日　日臨技都道府県災害対策研修会に坂西副会長出席
22．７月19日　北日本支部幹事会（郡山市）へ渡邊会長出席
23．７月23日　ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB 出席
24．７月25日　糖尿病関連イベント打ち合わせ会に畔上副会長、田端理事出席
25．８月６日　令和元年度第１回新潟県臨床検査精度管理協議会に坂西副会長、草間理事出席
26．８月26日　健康寿命延伸フォーラム打ち合わせ会に桑原副会長出席
27．９月８日　BSN キッズフェスティバルに神林理事出務
28．９月14日　第４回理事会
29．９月17日　ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB 出席
30．９月17日　令和元年度新潟県検診精度管理調査委員会へ渡邊会長、坂西副会長、畔上副会長、桑原副会長出席
31．10月４日　令和元年度北日本支部内連絡会議（山形市）へ桑原副会長出席
32．10月５日　北日本支部学会式典（山形）へ渡邊会長出席
33．10月９日　第36回がん征圧新潟県大会へ桑原副会長出席
34．10月14日　健康寿命延伸フォーラムに参画
35．10月19日　糖尿病関連イベント打ち合わせ会に畔上副会長、田端理事出席
36．10月20日　ピンクリボンホリデー2019へ参画
37．10月26日　新潟県医師会設立記念大会へ渡邊会長出席
38．10月27日　新潟県臨床検査精度管理試料発送
39．10月27日　第５回理事会

40. 11月10日　まちなか健康フェスティバル HbA1c 測定会へ参画
41. 11月10日　糖尿病を知る集いに参画
42. 11月16日　第93回新潟県臨床検査学会
43. 11月16日　無料 HbA1c 測定会に参画
44. 11月23日　全国検査と健康展
45. 12月 9 日　第 4 回精度管理委員会
46. 12月14日～15日　ベットサイド実践講習会
47. 12月17日　ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB 出席
48. 12月21日　12月常任理事会
49. 12月23日　第 3 回会誌編集会議
50. １月11日　第 6 回理事会
51. １月24日　日臨技賀詞交換会（東京）へ渡邊会長出席
52. １月25日　日臨技全国幹事連絡会議（東京）へ渡邊会長出席
53. １月29日　新潟県精度管理協議会へ坂西副会長、草間理事出席
54. １月29日　関連団体への新年挨拶回りに渡邊会長、小柳事務局長出務
55. ２月 8 日　第 7 回理事会
56. ２月22日　上越支部総会に坂西副会長出席
57. ２月22日　下越支部総会に渡邊会長出席
58. ２月23日　新潟支部総会に畔上副会長出席

事業報告に関わる附属明細書

事業報告を補足する事項はない。

【上越支部】

1　秋季研修会：第113回上越支部研修会（生涯教育認定　専門20点）

日時：令和元年８月24日（土）

会場：上越市　市民プラザ　第２会議室

講演１

・感染症項目の精度管理について　ACCURUN シリーズ

日立化成ダイアグノステイックス・システムズ（株）木村　育夫　先生

講演２

・採血ガイドライン改訂と安全な採血を行うための知識　BML 総合研究所　山崎　家春　先生

参加者　35名

2　春季研修会：第114回上越支部研修会（生涯教育認定　専門20点）

日時：令和２年２月22日（土）

会場：高陽荘

講演１

・新潟県におけるウイルス性肝炎の状況～肝疾患診療体制の確立～

新潟大学大学院医歯学総合研究科　消化器内科学分野肝疾患相談センター

特任助教　薛（せつ）　徹（とおる）　先生

講演２

・押さえておきたい免疫検査の基礎とピットフォール

アボットジャパン株式会社　学術情報室　青木　和雄　先生

参加者名　44名

研究班活動

1　検体研究班（臨床化学部門・微生物部門　生涯教育認定　専門20点）

日時：令和元年10月10日（木）

会場：新潟労災病院３階会議室

・血流感染症と血液培養について

日本ベクトン・ディッキンソン（株）DS 事業部学術担当　小林　郁夫　先生

参加者　18名

2　形態検査研究班（血液部門・血清部門・病理部門・一般部門　生涯教育認定　専門20点）

日時：令和元年11月29日（金）

会場：県立中央病院２階講堂

・尿検査～尿定性・尿沈渣～　新潟県立中央病院　臨床検査科　羽深　実里　技師

参加者　40名（非会員３名を含む）

3　生理検査研究班（生理検査部門　生涯教育認定　専門20点）

日時：令和元年10月24日（木）

会場：上越総合病院２階講堂

・ホルター検査で見られるペースメーカー特殊機能　フクダ電子（株）寒河江　大介　先生

参加者　24名

地域保健活動

第56回上越糖尿病内分泌研究会

日時：令和元年９月25日（水）

会場：上越市　市民プラザ

『病院、診療所、地域での栄養・運動指導の取組について』

『糖尿病治療における最近の話題～患者さんのやる気スイッチはどこ？～』

第40回上越循環器談話会

日時：令和元年11月15日（金）

会場：ホテルセンチュリーイカヤ

『地域連携で実現する心不全の緩和ケア』

広報活動（上越支部会員向け）

支部だよりを第216号から第219号まで計４回発行。

役員会議

2019年（平成31年・令和元年）

４月25日（木）定例役員会

５月29日（水）定例役員会（拡大）

６月27日（木）定例役員会

７月25日（木）定例役員会

９月30日（木）定例役員会

11月25日（月）定例役員会

2020年（令和２年）

１月30日（木）定例役員会

平成31（令和元）年度通常総会

日時：令和２年２月22日（土）

会場：高陽荘

参加者　35名

【中越支部】

〈研修会〉

１）2019年度中越支部講演会［生涯教育認定　基礎20　参加　50名］

日時：2019年３月９日（土）14：00～16：00

場所：立川綜合病院　３階　講堂

講演Ⅰ：「バリデーションソフト Validation-Support-V3.5で用いる精度管理用語の基礎理解」

講師　北里大学保健衛生専門学院　小林　浩二　先生

講演Ⅱ：「R-CPC　～検査データの見かた～」

講師　新潟医療技術専門学校　伊藤　正行　技師

２）中越支部フォーラム［生涯教育　基礎20　参加　39名］

日時：2019年７月６日（土）14：00～17：00
場所：立川綜合病院　３階　講堂
講演Ⅰ：「診療報酬と保険点数の仕組み、2025年問題とこれからの臨床検査技師にできること」
講師　シーメンスヘルスケア株式会社　松尾　久昭　先生
講演Ⅱ：「対処に困った事例 ～しくじらないために知っておこう～」
講師　県立十日町病院　草間　孝行　技師
講演Ⅲ：「臨床検査技師会の活動について」
講師　新潟県臨床検査技師会　桑原喜久男　副会長

３）中越支部ふれあい研修会［生涯教育認定　基礎20　参加　37名］
日時：2019年12月７日（土）14：00～17：00
場所：厚生連長岡中央綜合病院　講堂
講演Ⅰ：「LD・ALP の IFCC 法について」
講師　関東化学株式会社　藤本　真暢　先生
講演Ⅱ：「STEP UP！　～さらなる資格取得を目指す方へ～」
講師　①臨床化学・免疫精度保証認定技師……魚沼基幹病院　馬場　　満　技師
②認定救急検査技師……長岡赤十字病院　鈴木　恵美　技師
③認定心電検査技師……済生会三条病院　桑原喜久男　技師
④ローカル糖尿病療養指導士……長岡中央綜合病院　石井　幸恵　技師

〈学術支援事業〉
今年度は１団体：中越支部精度管理研究会より学術支援の依頼があり、中越支部理事会にて承認した。2020年２月１日に立川綜合病院にて「第１回中越支部精度管理研修会」が開催され、約40名の中越支部会員が参加し、たいへん盛況であった。

〈通常総会〉
１）2019年度中越支部通常総会［生涯教育　基礎30　参加　38名］
2019年３月９日（土）16：00～17：00　立川綜合病院　３階　講堂
議長　藤原　喜志　技師（見附市立病院）
議事　①　2018年度事業・決算・監査報告
②　2019年度事業計画・予算案提案
③　2019・2020年度中越支部役員選出案

以上の議案について審議され、原案どおり承認された。

〈公益事業〉
１）父の日企画「家族で守ろうパパの健康」［生涯教育　基礎20　参加ボランティア技師　16名］
2019年６月16日（日）11：00～15：30　リバーサイド千秋　１階　リバーサイドコート
主催：ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課
体組成測定、血糖値測定、CO 測定、血管測定を実施
来場者数　232名
２）第33回糖尿病を知るつどい［生涯教育　基礎20　参加ボランティア技師　10名］

2019年７月20日（土）12：00～16：00　長岡リリックホール（シアター）
主催：長岡市医師会
来場者　238名
来場者の血糖値測定　約120名

３）すこやかともしびまつり　2019［生涯教育　基礎20　参加ボランティア技師30名］
2019年９月28日（土）・29日（日）両日10：00～16：00　アオーレ長岡
主催：長岡市
来場者の肺年齢測定　851名

４）「世界糖尿病デー2019　in 長岡」［生涯教育　基礎20　参加ボランティア技師　10名］
2019年11月４日（祝）13：00～17：00　アオーレ長岡
主催：長岡市医師会
来場者の血糖測定　90名・HbA1c 測定　80名

〈支部理事会〉

第１回役員会　2019年４月25日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：支部理事担当職務について
支部フォーラム企画内容について
今年度公益事業参加予定について

第２回役員会　2019年５月23日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：第11回臨床検査セミナー・通常総会について
公益事業「父の日企画」について
支部フォーラム企画内容について

第３回役員会　2019年６月27日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：公益事業「父の日企画」総括
支部フォーラムについて
公益事業「糖尿病知るつどい」について

第４回役員会　2019年７月25日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：支部フォーラム総括、ふれあい研修会内容について
公益事業「糖尿病を知るつどい」総括
公益事業「すこやかともしびまつり2019」について、

第５回役員会　2019年８月22日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：公益事業「すこやかともしびまつり2019」について
公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について
ふれあい研修会内容について

第６回役員会　2019年９月26日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：公益事業「すこやかともしびまつり2019」について
公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について
ふれあい研修会内容について

第７回役員会　2019年10月24日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について
ふれあい研修会内容について
中越支部講演会・通常総会について

第８回役員会　2019年11月28日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：ふれあい研修会内容確認
中越支部講演会・通常総会について
学術支援事業について
第９回役員会　2019年１月23日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：ふれあい研修会総括
中越支部講演会・通常総会について
学術支援事業について
第10回役員会　2019年２月27日（木）18：30～　長岡赤十字病院　会議室
議題：中越支部講演会・通常総会について

【下越支部】
〈研修会等〉
⑴　第１回支部研修会
日時：令和元年７月27日（土）14：00～16：30
場所：（一財）下越総合健康開発センター　２階　大講堂
内容：１．標準採血ガイドライン（GP４-A３）の特徴と変更点
講師　積水メディカル株式会社　須長　宏行
２．採血・採血管取り扱いに由来する検査値への影響と注意点
講師　積水メディカル株式会社　須長　宏行
参加者：45名（会員42名）
生涯教育認定　基礎20点
⑵　第２回支部研修会
日時：令和元年12月14日（土）14：00～16：30
場所：新潟医療福祉大学　顕微鏡室 N511
内容：１．知っておきたい尿沈渣の基礎知識と尿沈渣鏡検
講師　部門員　小野　篤史　技師
部門員　齋藤　直子　技師
部門員　計良　政裕　技師
参加者：36名（会員35名）
生涯教育認定　基礎20点
⑶　第３回支部研修会および総会
日時：令和２年２月22日（土）13：30～17：00
場所：（一財）下越総合健康開発センター　２階　大講堂
内容：１．性感染症の現状～HIV 感染者「ゼロ」を目指した最新の知見～
講師　シスメックス株式会社　原　　敬志
２．クレーム対応の基礎～患者さんの満足度を高める苦情対応～
講師　アボットジャパン合同会社　小菅　陽子
参加者：30名（会員20名）
生涯教育認定　基礎20点

内容：下越支部通常総会

参加者：17名
生涯教育認定　基礎30点

〈下越支部役員会〉
今年度は、支部研修会打ち合わせ等で７回開催した。
第１回役員会　令和元年４月22日（月）16：00～　下越総合健康開発センター
第２回役員会　令和元年６月27日（木）16：00～　下越総合健康開発センター
第３回役員会　令和元年７月27日（土）12：30～　下越総合健康開発センター
第４回役員会　令和元年９月25日（水）16：00～　下越総合健康開発センター
第５回役員会　令和元年12月14日（土）12：30～　新潟医療福祉大学
第６回役員会　令和２年１月15日（水）16：00～　下越総合健康開発センター
第７回役員会　令和２年２月22日（土）12：00～　下越総合健康開発センター

【佐渡支部】
〈研修会等〉
１）研修会
日時　令和元年８月３日（土）13：30～（受付13：00～）
会場　佐渡総合病院　２階　講堂
内容　１．講演「睡眠時無呼吸症候群（SAS）について」
講師　帝人在宅医療（株）在宅医療高崎支店　脇屋　佑一　先生
座長　JA 新潟厚生連羽茂病院　山田　将也　技師
２．講演「認知症を知る～臨床検査技師として～」
講師　JA 新潟厚生連小千谷総合病院　寺島　　健　先生
座長　JA 新潟厚生連羽茂病院　山田　将也　技師
２）支部総会・研修会
日時　令和２年３月７日（土）16：30～（受付16：00～）
会場　佐渡総合病院　２階　講堂
※ COVID-19の影響により、本年度は総会のみの開催となりました。

〈公益事業〉
１）令和元年６月９日（日）「佐渡糖尿病ウォークラリー2019」
２）令和元年11月９日（土）「糖尿病を知る集い」

〈支部役員会〉
第１回役員会　令和元年４月11日（木）
第２回役員会　令和元年５月７日（火）
第３回役員会　令和元年７月24日（水）
第４回役員会　令和元年10月29日（火）
第５回役員会　令和２年１月23日（木）

【新潟支部】
〈研修会等〉
（新潟支部会）
【令和元年度第１回新潟支部研修会】2019/10/26
参加人数：32名
① ISO 取得と SOP　猪俣　記一（sysmex 株式会社）
② ISO 取得経験談とポイント　星山　良樹（新潟大学附属病院臨床検査科）

【令和元年度第２回新潟支部研修会】2020/02/23
参加人数：50名
学生でもわかる放射線画像　能登　義幸（新潟大学医歯学総合病院放射線部門　副技師長）

（臨床化学研究班）
なし
（血液研究班）
なし
（生理研究班）
【心電図セミナー2019】2019/３/17
参加人数：84名
① 緊急報告心電図を診る　高野小百合（社会医療法人河北医療財団　河北総合病院）
② 自律神経興奮と心電図指標　斎藤　修（新潟大学医学部保健学科）
③ ペースメーカ心電図の基礎と臨床　山田　宣幸（三菱京都病院）
④ 症例検討会

【新潟支部研修会】2019/12/８
参加人数：42名
① 未経験者のための心エコー　小林　紘子（新潟大学医歯学総合病院　診療支援部　臨床検査部門）
② 臨床検査技師さんに知ってほしい放射線画像
能登　義幸（新潟大学医歯学総合病院　診療支援部　放射線部門）

（一般検査研究班）
【新潟支部第45回一般検査研修会】2019/７/10
参加人数：28名
① スライドクイズ　提示　小野　篤史（済生会新潟病院）
② 全国学会・スキルアップセミナー報告　白川千恵子（新潟医療技術専門学校）
③ 髄液検査の基礎を学ぶ　深谷　響己（新潟大学医歯学総合病院）
④ スライドクイズ　解答　小野　篤史（済生会新潟病院）
⑤ その他、諸連絡など

【新潟支部第46回一般検査研修会】2019/10/８
参加人数：21名
① スライドクイズ　提示　白川千恵子（新潟医療技術専門学校）

② 北日本一般研修会報告　河野　良平（下越病院）
③ 尿定性試験について　片瀬　優子（アークレイマーケティング株式会社）
④ スライドクイズ　解答　深谷　響己（新潟大学医歯学総合病院臨床検査部門）
⑤ その他、諸連絡など

【新潟支部第47回一般検査研修会】2019/11/23
参加人数：40名
① 上皮細胞編　野崎　司（東海大学医学部付属病院）
② RCPC 学会参加報告　野崎　司（東海大学医学部付属病院）
③ 異型細胞編　野崎　司（東海大学医学部付属病院）
④ スライドカンファレンス　野崎　司（東海大学医学部付属病院）

病理研究班
（~~病理技術研究班~~）
【第40回　新潟病理技術研究会】2019/ 3 /16
参加人数：24名
① スライドガラスのデジタル画像活用例　田村　哲（パスイメージング株式会社）
② 脱水・脱脂・パラフィン新党（Processing）のコツとポイント
篠田　宏（サクラファインテックジャパン株式会社）
③ ホルマリン固定による核酸品質への影響　畔上　公子（県立がんセンター新潟病院）
④ 脳血管障害の病理　武田　茂樹（新潟脳外科病院）

【第41回　新潟病理技術研究会】2020/ 2 / 1
参加人数：31名
① コントロール切片の使用法について　長谷川秀浩（新潟医療センター）
川口　洋子（県立がんセンター新潟病院）
高頭　秀吉（長岡赤十字病院）
② 病理検査と化学の関係性によるキシレンフリーの新しい包埋処理方法
丸山　拓二（白井松器械株式会社）
③ 病理診断における免疫染色の精度管理と応用
芹澤　昭彦（東海大学医学部付属病院　病理検査技術科）

（微生物検査研究班）
【第130回新潟支部微生物研究会】2019/ 9 /25
参加人数：13名
① 近年話題の感染症抗体検査、抗原検査、遺伝子検査の特徴と選び方、結果の読み方
―麻しん、風しん、その他の感染症について―
飯田　慶治（エスアールエル株式会社）

（公益活動、その他）
【令和元年度新潟支部定期総会】2020/ 2 /23
参加人数：36名
【新潟支部情報交換会】2020/ 2 /23　鉄板焼き Ekyu
参加人数：30名

（総会及び幹事会）

1）支部定期総会・第１回　新潟支部幹事会

平成31年２月16日（土）新潟大学医学部第一講義室（西講義棟　１階）

2）第２回　新潟支部幹事会

平成31年３月20日（水）18：30～　新潟県臨床検査技師会事務所

3）第３回　新潟支部幹事会

平成31年４月17日（水）18：30～　新潟県臨床検査技師会事務所

4）第４回　新潟支部幹事会

令和元年５月15日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

5）第５回　新潟支部幹事会

令和元年６月26日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

6）第６回　新潟支部幹事会

令和元年７月17日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

7）第７回　新潟支部幹事会

令和元年９月18日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

8）第８回　新潟支部幹事会

令和元年11月20日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

9）第９回　新潟支部幹事会

令和元年12月11日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

10）第10回　新潟支部幹事会

令和２年１月15日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

11）第11回　新潟支部幹事会

令和２年２月19日（水）19：00～　新潟県臨床検査技師会事務所

12）支部定期総会

令和２年２月23日（日）新潟大学医歯学総合病院　12階　大会議室

第３号議案

公益目的支出計画変更決議案

平成26年４月１日に一般社団法人に移行した際、財産は公益目的事業に使用することとなりました。６年間実施し、令和２年３月31日で終了予定でした。しかし、検査学会研修事業（継続事業１）の研修参加者の増加に伴い、参加費収入や研修会の助成金が収入計画より増加したが、研修会開催に係る経費が収入増加分より増えなかったため、計画完了年度を令和３年３月31日と１年延長したい。

第４号議案

固定資産を流動資産へ移行決議案

公益事業の増加に伴い、固定資産の会館建設引当預金から50万円を流動資産に移行したい。

第５号議案

支部提出議案について

各支部からの提出議案はなかった。

第６号議案

日臨技定時総会提出議案について

日臨技定時総会への提出議案はない。